

第6回（平成17年度第5回） かごしままちづくり会議会次第

○日時：平成18年2月24日（金）午後3時～

○場所：郡山支所 3階会議室

1 開 会

2 報 告

（1）第5回（平成17年度第4回）かごしままちづくり会議における意見等の検討状況
について

（2）第5回（平成17年度第3回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況に
ついて（全市的な事項）

（3）第6回（平成17年度第4回）地域まちづくり会議等について

3 協 議

（1）かごしままちづくり会議のとりまとめについて

4 その他

5 閉 会

かごしままちづくり会議委員名簿

(平成18年2月24日現在)

職 名 等	氏 名	摘 要
鹿児島大学法文学部教授	宮 廻 甫 允	会 長
日本ガス株式会社専務取締役	津 曲 貞 利	副会長
吉田地域まちづくり会議会長	西 園 登	
桜島地域まちづくり会議会長	萩 原 道 也	
喜入地域まちづくり会議会長	今別府 健 司	
松元地域まちづくり会議会長	四 元 泰 盛	
郡山地域まちづくり会議会長	槐 島 諭	
株式会社山形屋代表取締役会長	岩 元 純 吉	
鹿児島市衛生組織連合会会長	岡 本 阜 八	
公募市民	中 迎 蘭	
NPO法人地域サポートよしのねぎぼうず代表	永 山 恵 子	
鹿児島市教育委員	奈良迫 ミチ子	
公募市民	野 口 誠	
鹿児島市総務局長	草 留 義 一	
鹿児島市企画部長	新 地 茂 樹	

第6回（平成17年度第5回）かごしままちづくり会議資料

○日時：平成18年2月24日（金）午後3時～

○場所：郡山支所 3階 会議室

目次

	ページ
1 第5回（平成17年度第4回）かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表	1 ～ 3
2 第5回（平成17年度第3回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表 （全市的な事項）	4 ～ 8
3 第6回（平成17年度第4回）地域まちづくり会議等について	9 ～ 12

第5回（平成17年度第4回）かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	農業を力としてとらえ、農林水産を戦うために、戦力・戦術・戦略がなければいけない。「ブランド鹿児島」として、農林水産業の戦略を構築すべき。戦力を作るための仕掛け・実施施策は多く見られるが、売って収益をあげる戦術を考えないといけないのではないか。今後、農林水産物をどう中心市街地、市外、県外に売っていくかを追求すべきではないか。	2	経済局	本市はこれまでピニールハウス等の施設を活用したホウレン草などの軟弱野菜を都市型農業の中心的作物として、生産の増大と品質向上に努めるとともに、消費者との信頼の構築を図り、一定の成果をあげているところである。また、県のブランドである鹿児島黒牛・黒豚の生産にも取り組み、その資質の向上を図り、高い評価を受けているところでもある。	1
2	現在の鹿児島市の組織では、農林水産業に限らず、戦略をしっかりと構築し、戦力を総合的に磨き戦術を構築するといふ面が弱いのではないか。今後組織の見直しを行う際には、産業振興局や企業局等、戦術を練って北九州、関東、関西に売る、あるいは、鹿児島市中心部において評判になるようなブランドとして確立して外に持っていく、パイロットセッションを作るなど、しっかりと戦術をつくることのできるセッションを組織の中につくってほしい。	2	経済局	特産品の振興にあたっては、県内外へ広く情報を発信し、販路拡大を図ることが重要であると考えている。本市としては、特産品ガイドブックの作成・配布や県外における物産観光展の開催などによる特産品のPRを行うとともに、地元のリソースを活かした新特産品の開発のため県などと共同で「かごしまの新特産品コンクール」を開催するなどの取り組みを行っている。今後とも、特産品の宣伝PRと販路の拡大に努め、特産品の振興を図ってまいりたい。	1
		2	総務局	観光や特産品を担当する部署において、連携をとりながら、本市のPR等に努めてきているが、各方面の情報を積極的に収集し、本市をPRするとともに、観光や特産品のプロモーションなど、本市の魅力を総合的に発信する横断的な組織として、平成18年度に、かごしまプロモーション推進室を設置する予定である。	2

第5回（平成17年度第4回）かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
3	青森市長が今年2度来鹿し、合併した隣町の産品であるりんごの鹿見島での販売が決定したというところであった。総合的な戦術として合併を全国に売りこむか。戦術の一つとして鹿見島でりんごを売る、鹿見島に青森市長がくれれば必ずニュースになるということを考えたようである。鹿見島のさつまいもを青森で売る、あるいは5町の特産品の中で今年はこの人気商品にしよう、来年はこれをエースにしようという戦術を駆使して売っていくという、そういうことを考えられるセクシヨンがないと地域間競争に勝ち抜いていけない。	2	経済局	特産品の振興にあたっては、県内外へ広く情報を発信し、販路拡大を図ることが重要であると考えている。本市としては、特産品ガイドブックの作成・配布や県外における物産観光展の開催などによる特産品のPRを行うとともに、地元の実業家を活用した新商品の開発を図るため県などと共同で「かごしまの新特産品コンクール」を開催するなどの取り組みを行っている。今後とも、特産品の宣伝PRと販路の拡大に努め、特産品の振興を図ってまいりたい。	1
4	「地域子育て支援センター事業の拡充」について、働く人たちの子どもだけが対象となるのか、地域で子どもを育てましようということなのか、内容について教えてほしい。	2	健康福祉局	地域子育て支援センター事業は、地域の子育て中の家庭に対する育児支援を行う事業であり、各地域の保育所が連携し、育児相談、子育てサークル等の育成・支援、地域の保育需要に応じた保育サービス等の積極的実施及び保育サービスに関する情報提供などを行うものである。なお、対象者は子育て中の全ての保護者及びその児童である。	1
			総務局	農産物の流通については、所管部局が経営指導等を通じて、取り組んでいるが、平成18年度は、農林部の改編を行い、農産物の流通にかかる企画等を行う流通企画係を設置し、より積極的にブランド化などに取り組むこととしている。	2

第5回（平成17年度第4回）かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
5	地域で子どもを育てる受け皿づくりのための人材育成について行政でできることがあるのではないか。	2	健康福祉局	地域で子どもを育てる受け皿づくりとして、「地域子育て支援センター」や「親子つどいの広場」等を整備することとしている。 地域子育て支援センターは保育所の持つ人材、育児に関するノウハウを活用したものである。「親子つどいの広場」は、主に乳幼児をもつ親とその子どもが気軽に集い、交流を図ることや、育児相談、子育てに関連する情報提供などを行うもので、地域の子育て支援を行っている団体（地域子育て支援センター、母親クラブ等）とのネットワークを構築しながら子育て関連情報の発信を行っていく施設である。	1・2
6	ビニールハウスや温室への補助など、旧吉田町時代に行っていたものが今後どうなるのか心配である。	1	経済局	園芸作物の生産向上と農家経営の安定向上のため、ビニールハウスの設置については、園芸振興事業の中で取り組んでおり、温室（硬質プラスチックハウスの設置については、旧吉田町と同じく降灰地域防災営農対策事業の中で取り組んでいる。	1
7	吉田小学校の移転改築について早期実施をお願いしたい。	1	教育委員会	市教育委員会では、各小・中学校教諭からそれぞれ1名、小学校区から各1名、合計189名のあいご主事を委嘱して、子ども会活動の充実を図っている。また、「あいご主事研修会」を年2回開催して、あいご主事の資質の向上に努めるとともに、少年団体ジュニア・リーダー研修会や少年団休成人指導者研修会等を開催し、地域の青少年教育のための指導者やリーダーの養成に努めているところである。今後とも、研修会の充実に努め、指導者の育成を図っていきたい。	1
				19年度に吉田小学校舎等の移転新築工事を行うこととしている。 ※新市まちづくり計画 2個性創造都市/(2)学校教育/①義務教育/29ページ	1

第5回（平成17年度第3回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	地域	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	喜入	地域における防犯関係についてであるが、実施計画の主な事業の中にある「地域防犯パトロール隊の結成促進・活動助成」について、具体的にはどんな内容の事業なのか。また、地域に対しどのような役割を期待しているのか。	2	市民局	「地域防犯パトロール隊の結成促進・活動助成」の事業内容は、防犯パトロール隊の活動を支援するため、パトロール用品の支給を行っているところである。 このことにより、防犯パトロール隊の結成が促進されるなど、地域での安全確保に関する自主的な活動が図られることを期待している。	1
2	喜入	犯罪が都市から田舎に移ってきている。喜入地域は寂しいところが多いが、その対策について、地域住民、PTA、警察、郵便局などと連携を図りながら検討することが必要ではないか。	2	市民局 教育委員会	警察や関係機関・団体と一体となって、地域の安全確保に関する自主的な取組を行う防犯パトロール隊の育成・支援を行っているところである。今後さらに、防犯パトロール隊の結成促進や地域における防犯に関する研修会を開催するとともに、学校やスクールガードなどとも連携を強化する中で、地域の安全確保に努めている。 学校では、「安全確保マニュアル」に基づく不審者侵入時の避難訓練や「子ども110番の家」への駆け込み模擬訓練等の実施及び、集団や複数での登下校や決められた通学路の利用等を指導するとともに、『学校や関係団体等における安全・事故防止等の指導計画例』や校区環境点検マップを活用した具体的指導の実施など、安全教育の充実に努めている。 また、学校安全スクールガード事業の推進や安全確保情報提供連絡員の依頼、警察署や各町内会の防犯協会、地域の防犯ボランティア団体等への下校時や夜間のパトロール実施依頼、「県警あんしんメール」の受信や校区環境点検マップの配布による情報の共有化など、関係機関・団体等との連携を図りながら児童生徒の安全確保に努めているところである。 今後とも、保護者をはじめ地域住民や関係機関・団体等と連携を図りながら児童生徒の安全対策に一層努めてまいりたいと考えている。	1

第5回(平成17年度第3回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他(質問、所感等を含む)
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	地域	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
3	松元	「実施計画」の「個性創造都市」の編については、現時点での課題が反映されていない感がある。 例えば、基本方針に「いじめや不登校のない学校づくりを努めます」とあるが、最近の事件などを反映して「安心して登下校できる環境づくり」といった視点も取り入れて計画を策定していただきたい。	2	企画部	児童・生徒の登下校時の安全対策に関しては、今回の実施計画において学校における安全教育の充実を図ることとしているほか、地域との連携協力も重要であることから、第1編「安心して健やかに暮らせるまち」において、昨年10月に施行した「安心安全まちづくり条例」に基づき、安心して安全に暮らすことのできる安全な地域社会の実現を図ることとし、地域防犯パトロール隊の結成促進に加え、新たに、地域における防犯・防災活動等のリーダー育成を行うこととしたところである。 今後、その時々の社会経済情勢の変化等に伴い計画の見直しが必要になった場合、毎年度のローリングの中で検討していくこととしている。	2
4	松元	松元学校給食センターではガス回転釜の断熱材としてアスベストが使用されていたそうだが、市内の他の公共施設におけるアスベスト使用状況の調査結果はどのようなものか。	2	環境局	市施設の吹付けアスベスト等使用実態調査については、関係課で調査を行い、30施設においてアスベストの使用が確認された。これらの施設については、現時点では飛散のおそれはないが、市の処理方針にもとづいて飛散防止の対策を行うこととしている。	1
5	松元	松元地域の農業従事者は60歳代以上の高齢者が多い。後継者の育成については、市としてどのような取り組みをしているのか。	2	経済局	担い手育成確保については、農業後継者や農村女性などの多様な担い手を育成する活動支援を図るための補助金の交付や農業経営管理能力の向上を図るための研修会などを実施している。また新規就農者の確保を図るため必要な就農相談を行っている。 ※新市まちづくり計画 5産業活力都市／(4)農林水産業／54ページ	1

第5回(平成17年度第3回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他(質問、所感等を含む)
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	地域	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
6	郡山	合併した地域の医療機関が全く休日当番医に入っていないように思う。郡山地域に限らず、遠くの医療機関まで行くのは大変なので、合併後、市域も広がり、人口も増えている状況を踏まえて、充実を図っていただきたい。医師会の事業とのことではあるが、鹿児島市としても積極的に働きかけをお願いしたい。	2	健康福祉局	市の合併に伴い、平成17年度から医師会も再編統合したが、休日当番医制についても、新鹿児島市医師会として旧町地域も含めた形で実施しているところである。 ただ、市医師会とされは、8つの診療科目が市域全体にうまく配分されるよう、地域別に当番医を調整してきたことなどもあり、平成17年度は、吉田、桜島地域(両地域は合併前から市医師会)を除く旧町地域(郡山、松元、喜入地域)の医療機関については、当番医に含めない形で実施し、18年度から、これらの地域の医療機関も含め実施する方向で調整中とのことである。 なお、市医師会とされは、当制度の診療科目を備えた医療機関自体が旧市域と比較しないことなどもあり、この状態で現在の8科目12医療機関体制を充実させるとなると、診療科目のばらつきなども出てくるため、当面は現体制で実施してきたいとの意向のようであるが、本市としては合併により市域が2倍に広がったこともあり、初期救急医療体制の確保の観点から当制度をさらに充実させていっていただくよう要請してまいりたいと考えている。	4
7	郡山	鹿児島市では自然遊歩道というものを指定しているのか。郡山地域にも八重山などの山、川や瀧、花尾神社をはじめとする史跡など、いわゆる「里山」の資源が多い。この里山を歩くことで地域の活性化につなげていくことができるのではないかとと思う。自然遊歩道として郡山や吉田地域の自然のすばらしさを広く市民に紹介してほしい。	2	環境局	鹿児島市では、自然とのふれあいを促進し、人と自然との共生に関する意識の高揚を図るため、市内に6箇所7コースの自然遊歩道を指定している。 また、旧吉田町が「牟礼岡散策道」として整備した吉田地域の「島の森」内の遊歩道を、新たに自然遊歩道として指定する方向で検討している。 なお、鹿児島市が指定するこれらの自然遊歩道、あるいは八重山公園のような自然豊かな公園等を広く市民に紹介し、人と自然とのふれあいを促進するための施策について、現在検討しているところである。	1

※新市まちづくり計画
 3快適環境都市／(2)自然環境、公園緑地、都市緑化／37ページ

第5回（平成17年度第3回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	地域	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
8	郡山	敬老の日のプレゼントや地域のお年寄りにはがきを出すのに名簿をいただきたいと思うが、個人情報保護が厳密になされるようになり、横のつながりが薄れていくような気がする。個人情報の保護も大事だと思いが、目的や趣旨に応じて情報の提供をお願いできないか。	2	総務局	本市の個人情報保護条例においては、法令・条例に基づく場合、本人の同意がある場合及び本人以外の者に提供することが明らかに本人の利益になる場合などを除いて、利用目的以外に保有個人情報を利用・提供してはならない旨を明記している。個人情報を取り扱うに当たっては、個人の権利利益の保護と市政の適正かつ円滑な運営に配慮しながら、対応していきたい。	5
9	郡山	最近、子どもたちが不幸な目に遭っている状況があり、小学校でもスクールゾーン委員会を設置しているが、自治会を中心に住民が協力して地域全体で子どもたちを守るための組織をつくる必要があるのではないか。	2	市民局	警察や関係機関・団体と一体となって、地域の安全確保に関する自主的な取組を行う防犯パトロール隊の育成・支援を行っているところである。 今後さらに、防犯パトロール隊の結成促進や地域における防犯に関する研修会を開催するとともに、学校やスクールガードなども連携を強化する中で、地域の安全確保に努めていきたいと考えている。	1
			2	教育委員会	学校では、「安全確保マニュアル」に基づく不審者侵入時の避難訓練や「子ども110番の家」への駆け込み模擬訓練等の実施及び、集団や複数での登下校や決められた通学路の利用等を指導するとともに、『学校や関係団体等における安全・事故防止等の指導計画例』や校区環境点検マップを活用した具体的指導の実施など、安全教育の充実に努めている。 また、学校安全スクールガード事業の推進や安全確保情報提供連絡員の依頼、警察署や各町内会の防犯協会、地域の防犯ボランティア団体等への下校時や夜間のパトロール実施依頼、「泉警あんしんメール」の受信や校区環境点検マップの配布による情報の共有化など、関係機関・団体等との連携を図りながら児童生徒の安全確保に努めているところである。 今後とも、保護者をはじめ地域住民や関係機関・団体等と連携を図りながら児童生徒の安全対策に一層努めてまいりたいと考えている。	1

第5回（平成17年度第3回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	地域	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
10	郡山	これまで地域のボランティア団体が、市民参画や行政との協働をするための打合せをする場所の提供や使用料の減免を要望してきたが、なかなか難しいというようない回答もあった。市民参画を推進する案例まで作った鹿原島市であるが、その理念が行政の隅々まで行き渡っているのか疑問である。	2	市民局	本市では市民参画を推進する条例に基づき、市民と市との協働によるまちづくりを進めており、市民参画の理念については市民だけではなく行政にも周知を図る必要があることから、各種研修会を実施し周知を図っているところである。今後についても条例等の周知に努めてまいりたい。	1
11	郡山	吉田地域の「島津の森」内の遊歩道を新たに自然遊歩道に指定する方向で検討中とのことであるが、現在の自然遊歩道は指定後約30年が経過しており、さらに合併地域を含む全市的視野での自然遊歩道の指定並びに広報の充実をお願いしたい。また、現在指定されている遊歩道についても、かなり荒れている箇所が見受けられるので、整備をお願いしたい。	2	環境局	旧5町地域については、さらに地域住民等からの情報収集に努め、自然遊歩道候補地の発掘を進めていくこととしている。また、指定した自然遊歩道については、広報紙やパンフレット、ホームページ等を通じて多くの市民に紹介しているところである。現在指定している自然遊歩道については、遊歩道協力員や市民からの報告によって下草刈りや踏面の補修などの維持管理業務を行っているが、今後とも市民に自然遊歩道を安全に利用していただくため、必要な箇所については整備を行い、適切な管理に努めてまいりたい。	1
12	郡山	福岡県宗像市は九州でも行財政改革が進んだところで、行政から地域団体に事務事業を委託することによって、行政の経費を削減し、さらに地域への補助金も削減しながら、地域の団体も育成するという取組みをしている。郡山地域では伝統的に自分たちの地域は自分たちで頑張ろうということして、川払いや道路清掃をやってきており、そういう従来から地域住民がやってきたものをむしろ支援するという発想に立って、委託業者の費用の半分でも3分の1でもいいから地域に委託することによって地域の自治会活動の活性化を図るという手法はとれないものか。	2	建設局	※新市まちづくり計画 3 快適環境都市／(2) 自然環境、公園緑地、都市緑化／37ページ 市道の伐開(藪払い)については、盆前と正月前の年2回実施している。これらは全て入札によって業者へ委託して実施しており、高齢化が進み、地域での伐開作業は難しいという状況が一般的であることや怪我等の危険性もあること、また合併後、市道については全て市の方で作業をすることになり、非常に地域からも喜ばれているという評価をしていることから、それらの作業を地域へ委託することについては、現実的には難しいのではないかと考えている。	3
13	郡山	児童生徒が減少する中で、花尾小学校は特設校に指定されているが、小規模校には小規模校の良さがあり、旧市内の大規模校と、例えば「フレンドリースクール」というような提携を結んで相互に訪問し、一緒に授業を受けたり、行事を開催して交流の場、ふれあいの場を作ってはどうか。	2	教育委員会	現在、市内でも小規模校の児童が他の学校を訪問し、一緒に学習したり、遊んだりする日を過ごす交流学習に取り組んでいる学校もある。また、学校同士の交流は、総合的な学習の時間や音楽会、テレビ会議など、様々な形でこれまでも取り組まれているので、このような実践例を小規模校との交流という視点からも生かしていくるように紹介してまいりたい。	1

地域まちづくり会議概要

区分	第6回吉田地域まちづくり会議	第6回桜島地域まちづくり会議	第6回喜入地域まちづくり会議	第6回松元地域まちづくり会議
開催日時	平成18年2月17日(金) 10:00~11:30	平成18年2月17日(金) 10:00~12:10	平成18年2月17日(金) 14:00~16:00	平成18年2月17日(金) 15:00~16:35
開催場所	吉田福祉センター2階会議室	桜島支所2階大会議室	マリニピア喜入八幡温泉保養館 2階第1会議室	松元支所3階大会議室
出席者数	委員14人	委員11人	委員14人	委員14人
会議内容	<p>1 会議 2 (1) 第5回(平成17年度第3回)会議における意見等の検討状況(報告) (2) 会議のとりまとめについて (3) 平成18年度以降の会議の進め方について (4) その他 3 閉会</p>	<p>地域まちづくり会議の果たしてきた役割は大きな意義があったと思う。この会議は平成18年度以降も継続されるが、地域には、まだまだ特殊な状況や細かい課題があると思うので、その後においても、何らかの形で桜島地域の意見をも市当局へ伝える制度が必要である。</p>	<p>喜入地域において、農業用の用水路(使用されたいないものを含む)の管理は、地域(用水路組合等)で行っているが、管理について行政から一部でも補助することは検討できないか。</p>	<p>自由開達に意見を述べても、関係部局からは合併前の鹿児島市の制度について回答されるだけで、合併後の施策に反映されていないと感じる。</p>
主な意見等 1	<p>グリーン・ツーリズムを促進するためには、拠点を作らないとなかなか前に進まないと思うので、支所に担当の部署を作って、そこを中心に推進してほしい。</p>	<p>これまでの会議では、行政にしてみたいところの意見がほとんどであったが、この会議は、地域振興のために桜島地域がどうあるべきか、地域住民として何ができるかも考えていくべきであり、自分たちで取り組む事項についても協議すべきである。</p>	<p>喜入の森及び周辺市道の桜は、近年「テングス病」に冒されたものが見受けられるので、処置をお願いしたい。</p>	<p>今年度末、市長に会議の協議経過を報告するが、そこで伝えた意見は市政に反映されるべく努力していただければいいと思う。1回意見を述べるだけではなかなか施策に反映されないが、我々はこれからは継続して意見を述べていく必要があると思う。</p>
2	<p>交通網の整備について、本城地区までは民間バスがあるが、麓地区までの乗り継ぎ便が少なく、通学等に不便なので、乗り継ぎがうまくいよう市で働きかけてほしい。</p>	<p>ハザードマップが改訂され、全戸に配布されると思うが、配布するだけでは高齢者等なかなか理解しづらいと思うので、少なくとも希望者を対象にでも何らかの形で住民への説明が必要である。</p>	<p>市の発注する道路工事で、特にスクールゾーンを含むものについては、子供たちの通学時の安全にも関わることなので、事前に学校へお知らせ願いたい。</p>	
3	<p>巡回バスについて、同じ市域なので吉田地域内にとどまらず、例えば吉野、伊敷、緑ヶ丘方面まで運行範囲を広げて、利便性を高めてほしい。</p>			

地域まちづくり会議概要

区分	第6回桜島地域まちづくり会議	第6回喜入地域まちづくり会議	第6回松元地域まちづくり会議
4	<p>第6回吉田地域まちづくり会議</p> <p>防災行政無線について、先日ある公民館長が支所に申請されたところ個別受信器がないとすることで、現在設置されていないようである。合併協定項目では、「既存集落の新築家屋等への設置については、更新時まで現行どおりとする。」となっているが、どうなっているのか。また、修理をするにも鹿屋島ではできず、時間を要するようであるが、なんとかかないか。</p>		
5	<p>昨年の台風14号接近の際、避難所開設について、市の場合、市民から申し出がないと開設されないとのこと、集落の公民館を避難所として開設したが、吉田町時は行政側で開設し、避難させていた。情報を得やすい行政の方が開設に関しては判断しやすいのではないかと、市では避難所開設にあたってどのような規定になっているのか。</p>		
6	<p>降灰地域防災営農対策事業について、18年度までは見通しもあるようであるが、それ以降は補助金がカットされるという話も聞いている。農業振興のためにも、自然災害に強い施設が必要だと思うので、今後とも継続してほしい。</p>		
7	<p>吉田地域では、野菜の生産者で吉田給食部会というグループを作って学校に給食の食材を入れているが、そのグループで年に1校ずつ吉田地域の生徒達との交流会をしており、交流会を通して生徒達が農業に対して興味を持っているので、農業に興味を持つ子供を増やすような環境づくりをしてほしい。</p>		
8	<p>牟礼岡でもヤンバルトサカヤスズが確認され、現在、市のほうで薬剤散布もなされているようであるが、これ以上繁殖地域が広がらないよう今後とも行政の協力をお願いしたい。</p>		

地域まちづくり会議概要

第6回郡山地域まちづくり会議		第7回郡山地域まちづくり会議	
区分	平成18年2月1日(水)	平成18年2月17日(金)	平成18年2月17日(金)
開催日時	14:00~16:50	14:00~16:05	14:00~16:05
開催場所	郡山支所3階会議室	郡山支所3階会議室	郡山支所3階会議室
出席者数	委員12人	委員12人	委員12人
会議内容	<p>福岡県宗像市は九州でも行財政改革が進んだところで、行財政から地域全体に事務補助金を委託することによって、行政の経費を削減し、さらに地域への補助金も削減しながら、地域の団体も育成するという取組みをしている。郡山地域では伝統的に自分たちの地域は自分たちで頑張ろうという中で、川払いや道路清掃をやってきており、そういう従来から地域住民がやっていたものをむしろ支援するという発想に立って、委託業者の費用の半分で3分の1でもよいから地域に委託することによって地域の自治会活動の活性化を図るといいう手法はとれないものか。</p> <p>「水と緑の交流会」をはじめとして、郡山地域や旧市内に拠点を置くいろいろな団体が郡山地域を舞台に甲突川源流地域の水と緑をテーマにした様々な活動を行っている。これらの団体が連携を図ることができればもっと大きな活動ができるのではないかと。またこれらの活動に対しては、行政から全く支援は受けていないが、広報の面等で行政の協力をいただければと考えている。</p>	<p>合併5地域ではそれぞれに「ふるさと祭り」のようなものを開催して郷土芸能を披露しているが、これらを鹿角中央駅周辺やドルフィンポイント等、市中心部の人が集まる場所で合同開催してはどうか。併せて地域の物産展や各地の団体の団体の活動の紹介などもできれば、交流の場が広がるのではないかと。</p>	<p>支所の機能については、合併前から冊子を配布するなどの取組みがなされてきたが、住民はあまりよく読んでいないし、中身も十分に理解されていない面がある。合併前は福祉センターで定期的に心配事相談があったので、気軽に相談できたが、今は支所の総務市民課で相談を受け付けているというところも知らない住民が多いと思う。支所の1階に総合案内の相談窓口を設ける。玄関に相談窓口の案内を表示するなど、住民がいつでも気軽に相談に訪れることができるような雰囲気づくりや広報をお願いしたい。</p>
主な意見等	<p>1 福</p>	<p>12</p>	<p>1</p>
2	<p>13</p>	<p>2</p>	<p>2</p>
3	<p>14</p>	<p>3</p>	<p>3</p>
4	<p>15</p>	<p>4</p>	<p>4</p>
5	<p>16</p>	<p>5</p>	<p>5</p>

地域まちづくり会議概要

区分	第6回郡山地域まちづくり会議	第7回郡山地域まちづくり会議
6	防災行政無線については、合併協議の中で「更新時に見直しを行う。」とされているが、8・6水害の際にも極めて有効に機能したことを踏まえ、合併5地域の防災無線は、今後とも活用していただきたい。	6 地域まちづくり会議の市長への報告については、今回は5地域及びかこしま会議が一緒に同じ形で行うとのことであるが、各地域で課題も異なり、各会議の取り組みも違う形になっていくと思う。来年度以降は、それぞれの会議が独自の形で特色ある提言を個別にする方が重みもあると思うので、そのような方向で検討していただきたい。
7	吉田地域の「島津の森」内の遊歩道を新たに自然遊歩道に指定する方向で検討中とのことであるが、現在の自然遊歩道は指定後約80年が経過しており、さらに合併地域を含む全市的視野での自然遊歩道の指定並びに広報の充実をお願いしたい。また、現在指定されている遊歩道についても、かなり荒れている箇所が見受けられるので、整備をお願いしたい。	7 地域まちづくり会議で出された意見というものは、一見、あまり深い意味があるようには見えないものもあるが、地域の特性や表情を踏まえての発言であるので、発言の行間にあるもの、背景等を十分にくみ取り取って行政に生かしていただきたい。
8	福祉アドバイザー制度については、これまで何回か要望してきたが、それに対して鹿児島市ではボランティアの「しもむびグループ」で対応できるとの見解である。「どもむびグループ」の実情がよく分らないが、これまで旧郡山町で福祉アドバイザー制度で実施してきたことが十分にできるのか疑問を持っている。今後とも、各自治会で積極的に取り組んでいただくとともに、行政の方でもそういう道筋を作っていただきたい。	8 郡山地域の自治会会長は1年で交代する例が多いが、継続性を確保することは必要であり、特に自治会連合会の役員が全員交代することは好ましくないもので、誰が残ってうまくサイクルを作っているという話をしている。
9	訪問給食については、対象になっている方々は制度の内容について十分満足されているようだが、合併後、対象外となった例えば子どもと同居しているが、居間は全一人というよう高齢者の世帯も対象にするなど、柔軟な対応はできないものか。	9 自治会活動については、17年度は組織や運営が大きく変わった試行錯誤の年で、各自治会会長は大変苦労されたと思うが、28自治会の全体会が一度も開かれなかったことで地域のまとまりが薄れてしまった感がある。今後は、いろいろな面で自治会や自治会連合会が中心になっていくことが地域の活性化につながると思うので、組織をしっかりとまとめ、全体の会を開いて情報交換を行う中で、これまで郡山地域で培ってきた良い火を消さないように取り組んでいただきたい。
10	郡山中央地区土地区画整理事業は、平成20年度完成という目標を立てて進めてきたものである。この事業が終わらないと次の事業には進めない状況もあるようなので、目標はあくまでも20年度までということを踏え続けて事業を推進していただきたい。	10 単位自治会の中でも、年一回の総会以外には皆が集まる機会がなく、年に一回も顔を合わせない人もいる。もともと自分の集落のまとまりや交流を活発にする必要があると感じており、もともと集落内で会合や研修をしなければならぬ。
11	河川の魚道整備の要望をしていたが、この整備が実現するまでの間は魚が川を上って来られないので、エビやうなぎ等の放流を検討していただきたい。	11 農村振興のシンポジウムの中で、農家の農業機械への負担が大きいと言語を聞き、自分の集落を試算してみたところ、約8千万円の投資をしていた。これほど大きな投資をして農業をやっているが、いずれ後継者がいなくなると、農地が荒れていくことを非常に危惧しており、今後の地域まちづくり会議でも、農業問題について掘り下げて議論していただきたい。
17	合併に伴い旧市内各地にユニークなスポーツ施設が増えたが、大きな大会や催しは旧市内での開催が多い。例えば中高生のサッカー大会は郡山総合運動場、パレオ大会は吉田の体育館というように特定の競技を特定の場所で開催することによって、既存の施設が生きてくるし、市民の交流が広がるのではないか。	7 自治会によっては地区内で福祉アドバイザーの担当を決めて声掛けを行っているが、地域の高齢者は皆で見守るという気持ちで、地域全体が福祉アドバイザーになるような意識の高まりと環境を作してほしい。
18		18 知賀町には平和会館というものがあるが、これは特攻隊の人たちを見守っていた知賀町の方々の想いが形になったもので、その心と出会うために多くの人々が訪れていると思う。郡山においても郡山を想う気持ちを何らかの形にしていけることで、いろいろな方々に来ていただけるのではないかと。
19		19 金峰町のポトピアが開業から一年が過ぎ、特に問題もなく、地域間の交流が増えたように思われるという好意的な記事が新聞に掲載されていた。郡山地域でも馬券売場の設置について噂を耳にするが、地域間の交流や人の動き、活性化につながるものであれば、可能性の一つとして検討の余地はあるのではないかと感じている。
20		20 敬老会の案内や贈り物をするための高齢者の名簿の提供の要望について、個人情報保護法の趣旨は理解するが、本人の同意があれば提供は可能であると思うので、どれほど匿名性があるか分らないが、地域、現場で生かせるように工夫しながら法律との兼ね合いを探っていた。
21		21 以前、合併地域に文化財の取蔵庫のような大規模な施設を造つたらどうかという提言を行ったが、これは高齢者福祉とか防災のように緊急な対応が求められることではなく、行政に携わる方々の意識の改革が必要だと感じているから、あくまでも長期的かつもっと広い視野に立って、将来的な見通しの一つとしていろいろな角度から検討してほしい。そういう可能性が広がったという意識をもっと持っていただきたいという趣旨である。
22		22